

非暴力直接行動

Mo 106

80年

9月5日

発行 戦争抵抗者インター日本部 (編集:ウリ) 大阪市阿倍野区旭町2-12-2



おもしろかった「象ゲーム」 非暴力トレーニングの印象

8月14日夕方、大阪へ帰る近鉄の中で、私は両肩のこりを和けようと、しきりに首をふったり、もんだり……。そつ、なんぞそんなことになったか？ それをこれから善こうと思わんぞ。

さて、11日からの4日間は、私たちが総執行人は、三重県度会町の青雲荘で過ごした。すぐ前を宮川がゆったりと流れ、緑の木立に囲まれた、とても静かな自然環境。

ご飯は大きなカマドが二つある炊事場でマキでたくのだし、風呂はたき木をわつてわかす。食事と風呂は二人づつの当番制。ひる間は、畑のとうもろこしをとつてゆでたり、竹やぶの竹を数十本切りはらつて遠景が見えるようにしたり。自転車のりの練習をして、とうとう乗れるようになったK代さん。宮川で泳いで、アユを大川四丁五十匹もとつて、それで二夜はアユのフライに、アユの塩焼。

象は早速、切つた竹をけずつて……といった豪華な自給自足？……

夜の時から、オ一夜・青雲荘の女あるじ、70才というのに40代の美貌ノ母ゆりきさんの生涯をきく会・オ二夜・現代暴力論ノートを讀む会と深夜の花火大会、そして最後の夜は、川原で竹やぶンを使つての即興音楽会……

でも一番おもしろかったのは、何といつても三日目午前の「非暴力トレーニング」とくに屋外に出てやつた「象ゲーム」だった。

「象ゲーム」というのは、「象の頭」役を先頭に、ズラツと一列「象の胴体」がめかくしをし、前の人の両肩に手を置いてながら、「頭」役はめかくししないで自分みえろが、一切口はきけない。「胴」へのあいずは、手をたいてたり、肩を

宇利の奈加乃乃 野村古止波 奥天休乃里遠

振替口座 大阪三三七七ウリジャパン(向井孝)

war resisters' international 日本部

▼使用済切手、切符のコレクションをしています。ウリからみ送りした封筒の切手、切めておいて、まとめてお送り下さることを願っています。

上下したり、あらかじめ「胴」と打合せしておく。「胴」はそれを耳と手で感じて、次へ口で伝えていきながらの行進。

行き先きは、「象の友達」先導役の指定どおりのコース。

「さあ、出発やでエ。ゆくてエー」

と足んに、ふたつ象の頭の手が鳴る。

「あ、右、右へまがるよ」「右だよ」「右や、右や」

今度は、ひとつ…

「ストップ！」「とまれ、とまれ」「とまれやで」と

順々にうしろへ伝えるはずなのに、もたら騒々しい。みなが一斉に、口々に言うからだ。

と、パンパンパンパン、手早い拍手の合図

「アツ、何かある。障害物や」「どこや、何かあるん？」「石や、大きな石や」「木イみだいなもんもあるぞ」「木と石やて」「

またいだら、とおれるぞ」「またいだら、いいつて…」

まあ、奥に「ぎやが」というか、思わず必死の大声というか、見物してたりきさん、おかしかったら、自分のすべしうろに「けきこえる程度の音で、丁ねいにはつきりて伝えることを、順送りして

いけば混乱はないのに、合図をきくや否や、前の伝達をまたすし

我こそはとばかり大声でみんなに知らせたりするもんだから、後の方は、まだその障害物にはほどよいのに、もう足がすくんで、おっかなびっくりの、へっぴり腰。

それにしても、目がみえないというのはとても大人げない不安。それでその分つい大声でどなつてしまふ。広いところを歩いても狭い狭



い通路のよこが錯覚がみえる。ちよつとした階段が、かけのよう

に思えて、足がうごかない。

二つめ、私は象の頭役を志願。私のすべしうろは、ナツキ

最後尾に「たろ子さん。ところが、口鳴のりダッシュ、プブリよ

ろしく、私の肩をぐつとつかまえるから」「えーとわ、今はゆわ

らかい草の上でそーすじなごど、ひとつひとつ、全員にふれわた

る大声での説明。そこまではよかつたが、さて障害物のあ

いずをするか、たまち

「あつ、障害物、今、足になにかあつてますうー」といいながら

う、足を杖がわり四方へのぼしてしらばまわり、一向にうごかない

い。「象の友へメヤンが、しきりに前へと私に合図する。加私の

肩はギョツとつかまえられる、前進どさか、必死の形相で立ち

すくむ親子さん、綱引きのように私を引戻す。これが私の有りの

の原因なのです」

その親子さんの大声と、一歩ふみ出せば谷をへてくらくしう

なへっぴり姿に、思わず笑いがつきあげてくる。声が出せないの

で体中であらう出す。と、すかすか

「あ、なに、何のあいさず？ 何かありますヨー、（みぢきりん） 気をつけて下

さいい。」と古いながらの大きなおぼろ。そのうしろのあたりにヨタ

ヨタ、手が離れかけて思わば悲鳴をあげるエ子さん。尻もちつ

いて大あわてのOさん。ケツ作は、すぐ前のYくんのせなか

に抱きついて、まるでおんぶの子猿みだいなFさん。そのかつこうが、まじおかしくて、もうがマンでまず、クック

裁判官資料として、てきまぐらにだけてくさん、4月分電気代の払戻し事例が

ツクツ、とうとう大声で涙ながしての大笑い。……
何しろ、前がらやんと歩いていくのだから、それを信頼し、合図で安心して進めばよいのだが、自分が一歩たしかめねば、一歩もあるけない、歩かない、ということでご落ち涙する。

非暴カトレーニングの、この「象ゲーム」は、グループ内での信頼関係を、伝達でたしかめ、深める、というものだが、私たちの独立独歩というか、不信頼感というか、いやはや、これは相当に肉體がある、というもんだ。伝達の技術にしても、やたらに大声で、しかも、体をほなして(前に屈着しようとするのでなく、むしろうしろへ後ずさりながら、前の人を自分の方へひき寄せようとする)手だけは肩にかかっているものの、足は決して、前を信じていないところからは、ほんものは生れないわけだ。

玄関前の広場を、30メートルほど、ほんのひとまわりしたけなの、まるで心を燃え、谷をやりたり、断崖のふちを歩いたように、すつかりぐつたりしたが、それ以上にこの「象ゲーム」は、新しくおもしろい経験だった。

(原俊子)



トレーニングのあとには全員で、人評をやらせると、切角の意味を失うのだが、このときは、「心理ゲーム」や「坐り込み」で排除されるときの、おそろびなどが、「体を柔かくするほど、強くなる」とトレーニングに移って、心身よりフィックスさせて、つい、それをやらなかつた。余白がないので、そのときのぼくのメモをここに

かきつけておく。何のことか判らないものもあるかもしれない。
★「象ゲーム」の外に何かもつとよい命名はないかなあ。「暗夜行路トレーニング」「園中棲の行進」?

★象ゲームでの各人のさまざまなきが示唆する向類。

横板(まね)と伝達。自立と非伝産性。不信と信頼。自我と連帯。非委任と委任。指揮と服従。

肉鎖(肉體)と開放。孤立と連合。決断とためらい。

感覚と信頼。技術と訓練。勇氣と判断。感覚と感情。

視覚と触覚。接触感。信号、合図、符号の意味。眼。

耳。手。足。胸。肩。と信頼。動物と人間。はなすといきよめる。はなれない。くらがづく。声。

全体と役割。部分と連合。分坦と権限。機能と作用。

上下動と横ゆれ。作用と反作用。静止と移動。恐怖と動搖。安心と静止。転換と飛躍。目標と方向。

★たごえは、正確でまちがいのないまねがあつて、伝産がつかられる。また、なまじつかな自分の主張、自立意識は、伝産を心よくうけとめず、他への伝産をも拒むものとしてある。それは自己を待たず、自信のうらやみとして他への不信とつながつており、横板(伝産)は、まず信頼があつてこそできるものであつて、かわかる……

9月4日 11:30 (まね)



「送電停止を禁止する。仮処分申請」(マ) (日割計算が認可をうけていこうとするウツをバクロしてあります)おまじしします。必要なのは送電2000円つけて申し込みたい。

▼反原祭ステリカー 朱青・緑・黄・赤の二組2000円。11枚で5000円へ送天しカンパ代りに回復して下さい。

送電停止を禁止する仮処分申請

とうとう腐電 馬脚を現わす

9月2日午後、大阪地裁ヤニ民事部大久保裁判官の審尋で、腐電電力は、やっと、34頁に及び「答弁書」を出してきた。待ちに待ったというか、手段をつくしてこの半信ちかく、何度か内容証明郵便をつきつけてもたゞ日割計算は、認可をうけてるの一点張り、一切具体的説明にはふれなかつた電力会社が、もうどうしようもなくなつて、遂に、こちらの主張に対する反論として、「答弁書」を提出してきた。!

8月26日、へ仮処分申請と記者会見。この報告は不払い連機関係、おさままつくら、ワヲを参照の(2)27日朝刊各紙にその内容が大きく紹介されて、腐電に痛敷をうけたヤニ彈から、更に答弁書(はいめて)ここで社内機密的な「供給種群取扱細則」をとりだして日割計算がそれにもとづくことを認めている(をタネに、ヤニ彈の攻撃の足がかりが出てきたわけである。次回、審尋は9月8日、さあ、鬼が出るか蛇が出るか。今注目!.....)

▼裁判費用にカンパを!
▼反原発ステッカー、買って!



おくとせ



▼9月7日(日)PM130〜14・女流藝天市(3回)

天王寺公園植物園前近。反戦反核反原発反空爆反公害反差別などさまざまな課題をもつ仲間たちが露天下で媒介に交流し情報を伝へあひます。今回は古着や無題集のお茶やいろいろの店が出て大に好玩的。あなたも、一人一品(古本でも、手づくり品でも)持ってきてならべてみませんか。誰でも歓迎。

▼9月17日(水)PM630〜930 不払い連びつくり市は講座才20回へ待ってます。やるなら、やつてエー、送電停止、不払い連ホカガグループ出演。講座の固くらしいイメージを、ひつくりかえず、不払い連の創造活動!会場、扇町、共同山屋、(おひめのすは06-351-8556又は不払い連すてんたいの04-929-0911)

▼9月19日(金)PM630〜9 原町通市日講座才2回、原発はどれだけ悪いのか。於、市立労働会館1本森宮下車4分。▼9月28日(日)PM12〜4 反原発女の身置才4回、私が番で呼ばれる。この日まで来ている原発反対、於、P.L.P.会館

▼パンフ・図書・買って下さい! ーWR工務所

- ① 荒井まり子獄中書翰集(叩が吉は獄舎を越えて)手渡し100円 送料100円 A5変型二八四頁
- ② 大辻事件と現代天皇制と死刑制度を問う、5月27日のシンポジウムへの参加者の発言を中心とした記録と死刑制度資料集B5判、500円